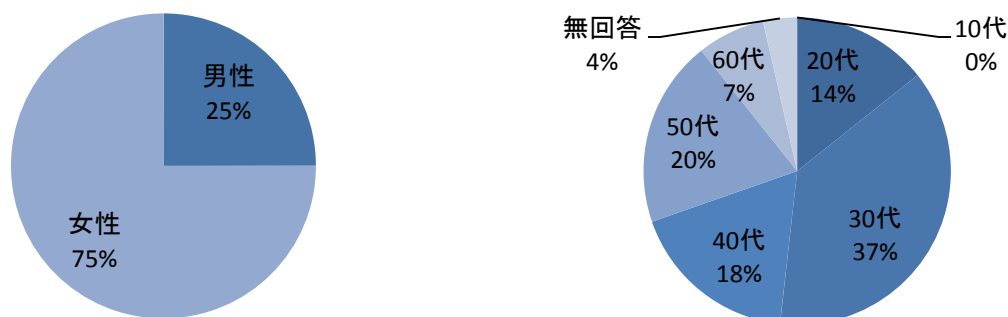


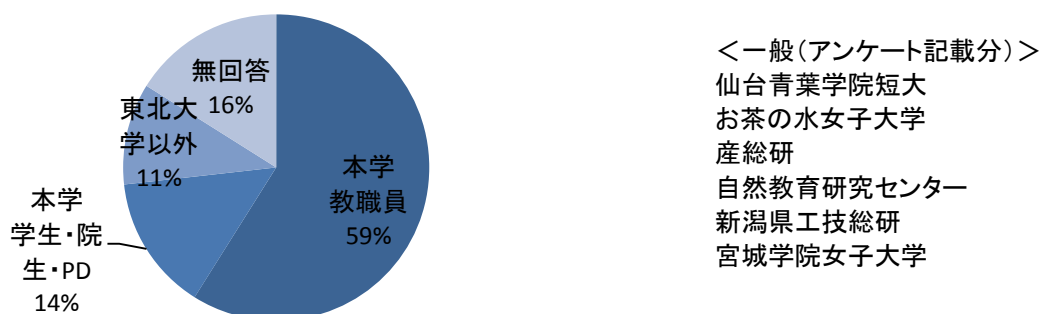
第12回東北大学男女共同参画シンポジウム アンケート集計結果

上記シンポジウムに参加された方々に、今後のシンポジウム開催の参考とするため、内容等に関してアンケートを行った。参加者113名のうち、56名の方から回答をいただいた。

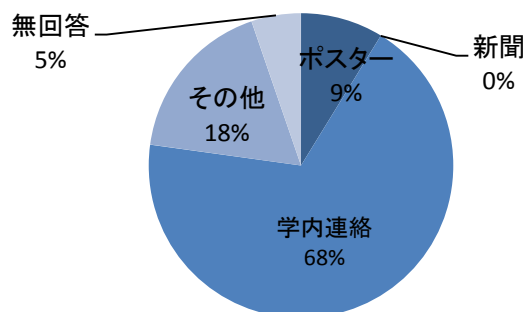
Q1 あなたの性別と年齢をお教えてください。



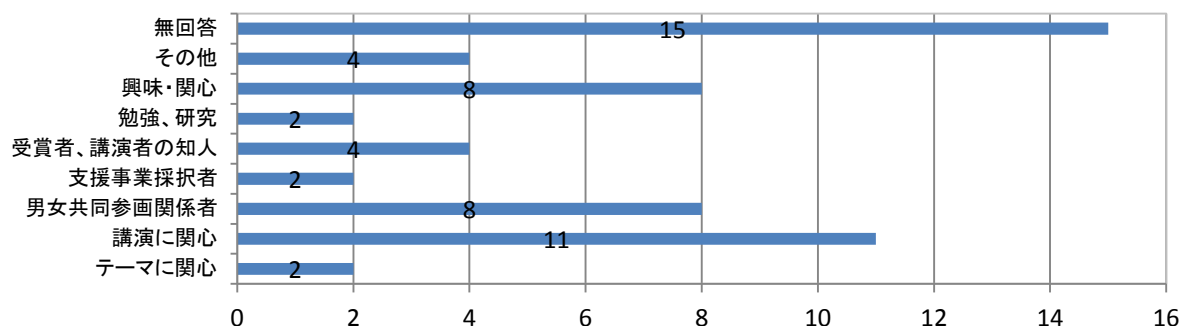
Q2 ご職業(もしよろしければ、会社名、職名も)をお教えてください



Q3 このシンポジウムのことをどこでお知りになりましたか。※複数回答あり



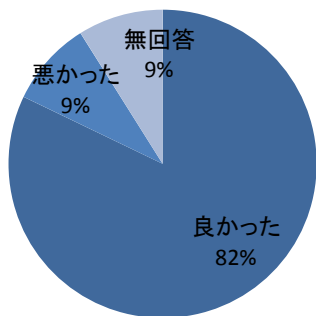
Q4 このシンポジウムに参加された動機は何ですか。



回答(一部抜粋)

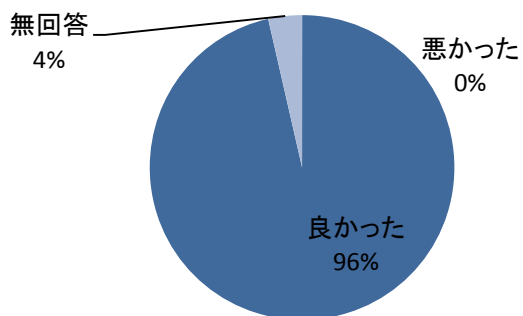
この大学におけるジェンダー問題に興味があった／男女の社会的差異に関心あり／教授のすすめ／昨年参加し、大変興味深かったので／活躍をされている女性研究者の講演を聞くことができる貴重な機会だったため／女性として自分の今後を考えたとき男女共同参画は非常に興味ある内容だったから／研究協力及び支援業務を担当しており、近年の情報収集と女性研究者の生の声を聴いてみたかったから 等

Q5 開催時期について



「悪かった」とお答えの方、どのような時期がよいか：
 残念ながら、この日は多くの学会と重なっていることが判明した。／土曜日でない方が良かった。／連休をはずすべき 等

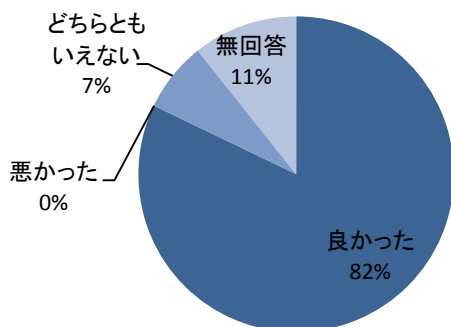
Q6 会場について



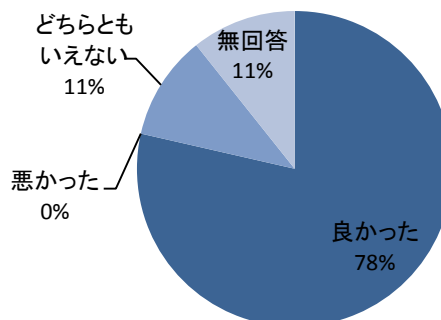
「良かった」とお答えの方のコメント
 寒かった／星陵はちょっと遠い。建物が分かりにくい
 職場に近かった／会場が明るくてよかったのですが前半
 スライドが見づらい気がしました。

Q7 内容について

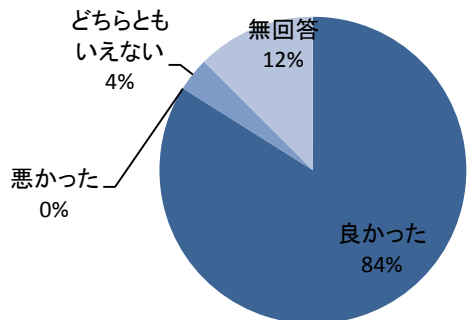
【澤柳記念賞受賞講演】



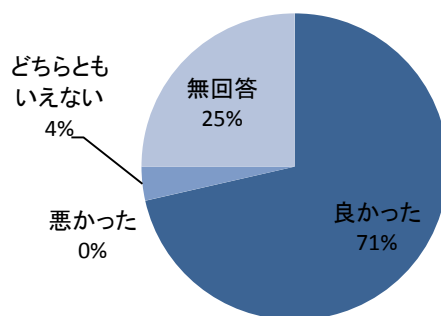
【男女共同参画の取組について】



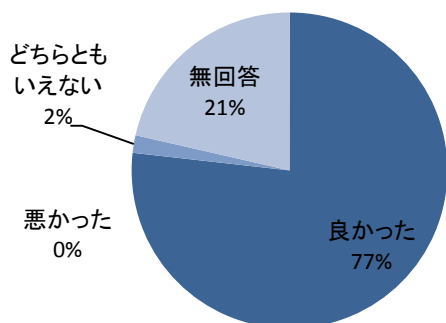
【特別講演 I】



【特別講演 II】



【全体として】



Q8 東北大学における男女共同参画の取り組みについてご意見をお聞かせください。

- ・ 周知が不足していると思う(取組そのものを知りません)
- ・ 助教の研究費が男女問わず極端に少ないことを視野に入れる必要があるのでは？ そうしないとせっかくのポジティブアクションがいらぬ反発を招く恐れがある。
- ・ かなり積極的にやっていると思います。ほかのイベントに付随してもっと可視化しても良いと思います。国際会議の誘致によってプラスになるとよいかなあ。
- ・ 積極的な取組を行っている。
- ・ サイエンスエンジェルをはじめとして先導的な取組をしていると思います。今後いかに男性が女性研究者の支援に理解を深められるかの取組が重要になると感じられました。
- ・ tenure trackについても考えて戴きたい
- ・ 文系の女性教員、女子学生への取り組みを充実させていくことも今後の課題ではないかと感じました。
- ・ 研究のために以前、調査(報告書など)させていただきましたが、素晴らしいとirikumiをされていると感じました。今後も一層のとりくみをおねがいます！
- ・ 文系分野にもSAのような取り組みが導入できるとよいのでは。大学の構成員の多様性に合わせた制度の構築と実現を進めていければと思います。
- ・ 男女共同参画シンポジウムがもう12回目ということ自体が感慨深いものがあります。この12年の間に学内の空気、考え方は大きく変わりました。ご尽力いただいた多くの先生に本当に感謝しております。
- ・ 先進的で多くの大学等に影響を与えていると思います。
- ・ ほとんど知られていないように思います。特に男性に。
- ・ 女性への共同参画の広報は十分かもしれないが、男性への呼びかけが足りていないのは。女性教員の参加者を集める熱意は感じるが、興味を持っていない男性職員に今回の話を聞かせるほうが効果が高く出るのかも。他人事な人に話を聞かせるには事務方からの命令しか手段はないのでしょうか。研修に取り入れるとかできないのでしょうか。
- ・ トップダウン式で積極的に先進的な施策を進めていることを評価している。一方でボトムアップはまだ不足している(部局レベル等)。特に男性に当事者意識が薄いと感じている。
- ・ まだまだ男女共同参画の浸透が少ない
- ・ 研究者だけでなく院生を対象にした活動も行われており門戸が開かれている印象。ただ大学参加者のうち、男性が少ない印象を受けます。
- ・ 様々な取り組みをされているようですが、実際に利用したい方々がそれを知らないという現状があると思います。また私は助手なのですが助教以上でなければ利用できない制度が多い理由を知りたいです。より若い人への支援が必要なのではないでしょうか。
- ・ やっている側なので微力なことしか貢献できず申し訳なく思いますがいずれにしても取組がおこなわれていることに帰属意識が高まります。
- ・ 準職員でも利用可能な制度が整備されていて働かせていただいている身としてはとても有難い。
- ・ 名古屋大学の活動でもあるように男性教員、男子学生の参加を拡大させてほしい。本参画の推進のためには、男女双方の理解・努力が必要であると考えています。
- ・ 多様なご配慮に富む取組で支援制度などは学内利用させていただきありがとうございます。
- ・ 外国人である私が東北大学で勉強と子育てを両立できるのは周りの環境と本男女共同参画のおかげです。引き続きご支援お願いします。
- ・ 他大学の取組の詳細を完全に把握しているわけではありませんが、学内にいて東北大学は女性教職員、女性大学院生に対する手厚い取組をしているように感じます。(まだ理解に乏しい男性教員が多い現実は厳しいことですが・・・)東北大学は男女共同参画への理解に乏しい男性教員(特に年配の方)が多いとも感じているので、もっと皆に理解していただけるような取組をやっていただきたいとも思います。
- ・ 研究支援要員の助成を利用していますがとても助かっております。今後お願いします。ただ研究支援要員で採用された人が継続的に雇用できるようになるとより良いと思いました。
- ・ 様々な取組をされているのだと知りました。
- ・ 女性研究者支援の様々な取組があり、利用させてもらっています。子育て中の男性研究者、職員に対しても啓蒙活動をさらにしていただけるとさらによいのではないのでしょうか。
- ・ 女性の役割を生かしつつ、男女共に仕事、研究に参画できる取組は大変進んでいるように思えて嬉しい。

- ・ 沢柳奨励賞・新大Witsのように本学のSAもぜひ男性メンバーを取り入れられたら良いじゃないかと思います。それは男女共同参画は女性だけでなく「男女共同参画」だから。
- ・ 男性教員の理解、協力が得られるような取り組みをして欲しいです。

Q9 男女共同参画に関連したシンポジウムで、何かご希望の企画がありましたらお書きください。

- ・ キャリアパスに関するシンポがあると良いですが。ロールモデルになる方、学会、企業に限らず。
- ・ パネルディスカッション。奥山市長なども参加して。
- ・ 女性の比較的多い文系に問題はないのか。
- ・ 予め参加者から事前アンケートで「訊きたいこと」「本課題で抱える悩みや疑問」等を集約いただければ
- ・ 男女共同参画推進における男性の取り組みを取り上げてほしい
- ・ 男女共同参画分野で国内外で活躍される方のお話を聞きたいと思います。
- ・ 文系理系での共同参画の取り組み方の違い、理系の中での分野による共同参画の違いなどに講演があるといいかも。
- ・ 本日の講演者の方々のように男女共同参画推進に関して素晴らしい知見やご経験をお持ちの方とよりフランクに懇談できる場が欲しい(小規模で)
- ・ 若手世代も含めた方々から幅広いキャリアパスの話を聞きたいです。
- ・ 対象世代(マーケット)が今回は教員、世代もやや上であったか。一般市民に親しみ易く啓発する企画もよいかもしれない
- ・ 東北大学の男女共同参画の委員やセンターの先生方の話をもう少し聞きたい。
- ・ coffee break や立食式の食事会などがあれば人脈を作りやすいです。講演者、発表者は女性だけではなく男性もあった方がいいのではないかと思います。
- ・ 輝いている女性の研究者の方のお話はとても勉強になりますが、もし男性の意見を示すのも面白い話題ではないかと思います。
- ・ 名古屋大学の事例(女性リーダー育成合宿)のような取組を非常に面白いと感じました。学内外の女性研究者を招いたり、学内の男性教員に頼んだりして、このような取組をやっていたらぜひ参加したいです。
- ・ 特になし
- ・ 1、ジェンダーとキャリア形成(デザイン)に興味あります
2、社会的参画とジェンダー
仕事、家庭、家族における男女の役割と歴史的変遷に興味あります

Q10 今回のシンポジウムについてご感想をお聞かせください。

- ・ 大変興味深いご講演ありがとうございました。
- ・ ポスターやプログラムだけを見ると「科学」という語を「理学、工学」と同義に使っているように見えるが、これは男女問わず文系の人々にとって違和感を感じざるを得ないことである。特別講演がそのような狭い内容ではなかっただけに残念である。
- ・ 良かったと思います。時間が足りなかったかも。
- ・ 予想していたよりも興味深い講演が聞けて良かったです。
- ・ 学内外での活動について聞くことができ、非常に重要な知見を得ることができた。
- ・ 小川先生の話は女性が研究者として独立していくのに科学の歴史的背景から容易ではないことを示しており、長期的視点で男女共同参画の取組を行うことが重要であると改めて認識させられました。とてもためになる講演でした。柘植先生の話では「男女共同参画」を若手研究者育成としてとらえなおすという視点は自分も同じ感覚であると思いました。シンポジウムの時間が4時間は少々長いように感じました。
- ・ 大変興味深く来てよかったと思う。ただ現実に女性の多い職場にいるのでいまひとつ今日の内容をどう生かすかびんと来なかった。
- ・ ありがとうございました
- ・ いずれの講演も興味深かったですが、特に小川先生の講演が良かったです。小川先生、柘植先生のお話共にとくに女性への期待は社会のニーズと密接に関連していることを様々なデータや文献から教えていただき改めて気づくことがたくさんありました。
- ・ 大変興味深く、楽しく、実り多い時間となりました。皆様ありがとうございました。

- ・ 特別講演をはじめ、講演内容が非常に興味深かったです。可能ならばハンドアウトが欲しかったです。
- ・ 充実した内容でした、ありがとうございました。たいへん勉強になりました。
- ・ 大坪先生のスライドがずれてしまっていたのがとても残念でした。(MacとWinの互換性の問題だともいますが、自分もmacユーザーなので身につまされました。)
- ・ 科学とジェンダー、どのような内容になるか想像が付きませんでした、とても面白かったです！！大学らしくて良かったと思います。
- ・ 大変興味深く面白いご講演、楽しく拝聴しました。
- ・ 参加者がもっと多いといいですね。
- ・ 非常に講演もおもしろかった。女性職員に集中した呼びかけだけでなく、大学内だけでなく、一般の人への講演にしても十分に興味を持ってもらえると思う。広告をもう少し改善した方がいいかもしれない。あのポスターを見た人から、オレには関係ないという意見を聞いた。
- ・ 女性を増やすことと多様性の確保はこれから両輪として進めていくことが必要と感じました。
- ・ 澤柳記念賞受賞者の大坪久子氏の講演が、実際に女性研究者の支援や情報発信に取り組んでいる立場からのお話で、非常に説得力があり、実践的で役立てられそうだと感じた。ほかの2名の講演も大変ダイナミックだった。
- ・ 興味深かった。
- ・ 特に小川先生のお話が面白かったです。昨年比べて男性の参加者が多いような印象を受けました。うれしく思います。毎回若手研究者カップル支援の話が出るが、なぜカップル(研究者同士)に限定するのか。パートナーが(若手)研究者でない場合は考慮しなくてよいのか毎回疑問に思います。
- ・ 講演の内容が非常に示唆に富むものでした。
- ・ オーディエンスを見ていると、若い男性は少なく、関心が低いのかと思いました。若い男性に限らず、男性への関心を促さないと男女共同参画は広まらないと思います。
- ・ 駐車場のゲート解放についてももう少し分りやすくして下さい。明日からのマネジメント業務に役立つ内容であった。
- ・ 機器の不備など事前準備不足では
- ・ 講演の内容は非常に興味深かった。しかし、それ以上に活躍されている女性研究者の方々のプレゼンの方法等がすごく勉強になった。今後の研究発表に生かしていきたいと感じました。
- ・ シンポジストの先生や受賞された先生の講演は大変刺激的であり、励みとなりました。ありがとうございました。
- ・ 女性自身にあるbiasに気づくというのはまさに気づかされた気がする。
- ・ 東北大学のことだけでなく、日本のほかの大学の男女共同参画の取組も聞かせて、とても有意義だと感じる。
- ・ 動物実験の都合で途中までしか参加できませんでしたが、澤柳記念賞の大坪先生や中野先生の講演など非常に面白く、興味深く拝聴いたしました。今後もできるかぎりシンポジウムなど参加したいと思います。
- ・ 男女共同参画がどういうものか理解できた。
- ・ たいへん興味深いお話が聞けて良かったです。
- ・ 小川先生のご講演が大変興味深く、機会があればまた聞きたい。映像プロジェクトについては事前に確認できなかったのか(進行の妨げとなる)。参加者が少なく、事前告知活動が足りないのでは。せっかくの素晴らしい講演がもったいないと感じる。
- ・ 男女共同参画はスバラシイか、次世代を担う子供への影響はどうであろうか。子供は親の愛情で豊かな精神のもと育てることで近代の「イジメ」「ひきこもり」「殺人」等減少するのではないのでしょうか。従って女性の労働形態を十分に考えることが大切に思える。
- ・ 男女共同参画を「科学」ではなく、もっと社会的またはグローバルに認識したくなりました(社会とは、教育や科学は、女性が高学歴に行く割合が高くないから必然な結果になっている気がするから。もっと義務教育や社会構造の面からジェンダーのことを考えたくりました。それと関連してキャリア形成(デザイン)とジェンダーとのテーマに興味あります)
- ・ 特別講演 I が大変面白かったです。